



Seiji Togo Memorial Sompo Japan Nipponkoa Museum of Art

REPORT 2014

東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館

No.42

当館は9月1日から新名称になりました。名称変更に伴うリニューアルと、
2014年度に実施した活動をご報告します。

Renewal!

新

ホームページ～こだわりは使いやすさ



のたび、館名変更のタイミングで
当館ホームページを12年ぶりにリ
ニューアルしました。

「見やすく、分かりやすい」をコンセプトに、
トップページに開館状況が一目で分かる
カレンダーを追加、また、コレクション情報の
データベースを一部公開し、自由に作品イ
メージや情報を見ることができるようになりました。
トップページに載せている景色は、美術
館が位置する42階からの眺めです。ぜひ作
品鑑賞とともに楽しんでください。



切手セット

15cm×10.5cm 各350円(税込)

絵

はがきに同じ絵柄のオリジ
ナル切手をセットにしま
した。ゴッホ《ひ
まわり》と東郷青児
《望郷》の2種
類。どちらも人気の
絵柄です。52円切手
2枚付なので一枚は絵
はがきに貼って、もう一枚は
コレクションにしても。

ア ートクロスはスエード調の極
細繊維でメガネやスマ
ートフォン、デジカメの液晶
画面を拭くのに最適です。やわらかく
て傷が付く心配もありません。汚れて
しまっても洗って何度も使用できます。
ゴッホ《ひまわり》、セザンヌ《りんごとナ
ップキン》、東郷青児《花炎》《超現実
派の散歩》の4種類。絵柄を前面に出
したかわいいパッケージです。

新 ミュージアムグッズ



一筆箋

17.5cm×8.5cm 各450円(税込)



アートクロス

19cm×19cm 各900円(税込)

ち ょつとした伝言やメモなどに最適な
一筆箋。縦書きでも横書きでも対
応できるよう罫線は入れていませ
ん。縦横どちらにも使用できるガイド付で30
枚。ゴッホ《ひまわり》、ゴーギャン《アリスカン
の並木路、アルル》、セザンヌ《りんごとナップキ
ン》、東郷青児《蝶》の4種類。



岩尾恵都子《赤岳》2013年 油彩・キャンバス、91×116.7cm
撮影:佐々木敏晴

「クインテット」(五重奏)と題し、継続的な作品発表の実績があり、将来有望な5人の作家たちを紹介するシリーズ企画第2弾。同世代の富岡直子、平体文枝、岩尾恵都子、水村綾子、山本晶の近作・新作71点を展示し、現代絵画の在り処を検証します。

クインテットII—五つ星の作家たち

彼女は、日常生活で接する景観の中で、光、風、音、天候、雰囲気、そして作家の記憶や心の変化などを、豊かな感性で形象化しています。それらはもともと形容することが難しいモチーフでもあり、抽象的で「色彩」を意識した「心象風景」となります。

富岡は一貫して「希望」を象

徴する「光」を捉え、観者は「光」に包まれるような感覚を受けます。富岡の「朝」をテーマとした新作群には明るむ朝の時間帯に響き渡るような力強い光がオーロラのように表現されています。平体の茫洋とした謎めいた作品は、あまりにも自然体で穏やかな表情をみせています。その背後に喜怒哀楽が潜ん

でいて詩情を辿ることができます。岩尾の風景の新作群には人間のまつ毛が描き込まれており、これまでの「身近な世界」から「人間と自然」という、より普遍的なテーマへの転機となっています。水村は「1/f ゆらぎ」を捉えて、心地よいものを感じる共鳴し合うような作品を開催しています。山本は多重視点で見られた画像の痕跡を、色によって代弁させて表現しています。

5人の絵画の前に佇むと、力強い「五重奏」が心の中で奏でられることでしょう。

【展覧会データ】

展覧会名 | クインテットII—五つ星の作家たち
会期 | 2015年1月10日(土)～2月15日(日)
主催 | 東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館、
朝日新聞社
協賛 | 損保ジャパン日本興亜、SHISEIDO

FACE 2015 損保ジャパン日本興亜美術賞 グランプリ 宮里紘規 Hiroki Miyazato 《Wall》



1990年生まれ 神奈川県在住
2012年 第30回上野の森美術館大賞展 入選
2013年 大阪芸術大学芸術学部美術学科卒業
シェル美術賞展2013 入選
2014年 アジア青年作家展A-YAC絵画部門 銀賞
2015年 多摩美術大学大学院美術研究科修了予定

3回目となるFACE 2015の審査は、思いの外入選審査に時間がかかり、賞審査はあっさりしたものでした。今回の出品作は質の高い作品が多く、70点の入選審査は6次に及び、時間をかけて作品を何度も見ることで作品の特徴や個性が際立ちました。選りすぐり作品の中での順位付けがスムーズであったのは入選審査が丁寧であったからと思われます。

見事グランプリを受賞した宮里紘規は、沖縄出身で現在多摩美術大学修士課程2年生。『第30回上野の森美術館大賞展』入選作《眩暈》と『シェル美術賞展2013』入選作《盲目の行進》では、細かく切り刻まれた紙片をコラージュしていました。今回の受賞作《WALL》は、細長く刻まれた展覧会印刷物の紙片が縦にWall(壁)状に貼られ、その壁を左下の人物が見上げているように描かれています。矮小な人物に対して巨大な壁は、何か大きなものに対してチャレンジする若者の不安な心境を表現しているのかもしれません。



《WALL》2014年 ミクストメディア、194×162cm

【展覧会データ】

展覧会名 | FACE展2015
損保ジャパン日本興亜美術賞展
会期 | 2015年2月21日(土)～3月29日(日)
主催 | 東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館、
読売新聞社
協賛 | 損保ジャパン日本興亜

REPORT

東郷青児記念損保ジャパン日本興亜美術館
レポート No.42

発行日 | 2015年3月(年1回発行)
編集・発行 | 公益財団法人 損保ジャパン日本興亜美術財団
〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
デザイン | 若林純子
印刷 | 吉田印刷



東郷青児記念
損保ジャパン日本興亜美術館
<http://www.sjnk-museum.org/>
03(5777)8600